

虫の住家



草の横にある石は、虫の住家になったり、人間でいうコンクリートの隙間に住み着くので、石に生える草は、他の草より早く成長する。石の隙間に住み着く草は、他の草より早く成長する。

澁川中一年今年度初体験学習 in 淡路島！
 ギンギン
 この植物はギンギンという植物で、タネノチカラで、は農業、肥料、水を使わず、日光と土のみで植物を育てている。ギンギンシはタネノチカラで、は農業、肥料、水を使わず、日光と土のみで植物を育てている。

SDG 淡路島研修

コンポストは、枯れ草や生ごみなどを入れて土にもどすことができる入れ物です。土は年々減っていき、あと六十年でなくなってしまうといわれています。土は年々減っていき、あと六十年でなくなってしまうといわれています。



コンポストは、枯れ草や生ごみなどを入れて土にもどすことができる入れ物です。土は年々減っていき、あと六十年でなくなってしまうといわれています。土は年々減っていき、あと六十年でなくなってしまうといわれています。

役立つ鶏



鶏には、満腹を極めないで、遠くに食べます。その特長は、うをいかにして農業をするにあたり、邪魔な雑草は全て鶏に食べさせるそうです。鶏はどこに行っても自分の小屋に帰るので、たまに小屋から出していろいろな雑草を食べてくれます。



感想



六十年後には世界の土がなくなってしまう。戦争が起きておかしな状況になる。淡路島はSDG15の学びの場。淡路島はSDG15の学びの場。淡路島はSDG15の学びの場。淡路島はSDG15の学びの場。

周りを支える雑草



この植物はギンギンという植物で、雑草ですが、周りに植えておくと、虫に食べられ、土を肥やしてくれます。雑草でも役に立つものがあります。雑草でも役に立つものがあります。

飼育されているニワトリ



種のカゴには、ニワトリを育てています。そのニワトリは、檻の中に生えている雑草を食べていて、そのおかげで食料には困りません。

コンポスト



コンポストとは土を作るための物です。微生物の力を利用して、有機物を分解して土にかえるという作業です。

6月9日 金曜日

ウッドチップ



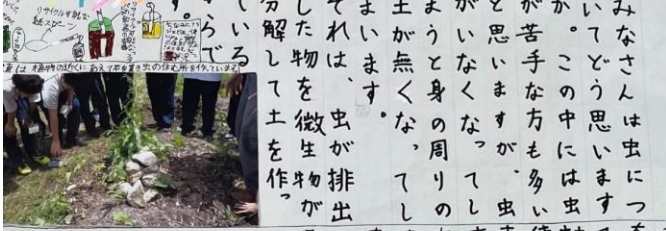
植物の根を乾燥から守り、温度の急な上昇・降下を防ぐ効果があります。雑草の生長を妨げたり、グランドカバーの役割も果たします。

ウッドチップは木を細かく砕いたもので、土の乾燥を防ぐ効果があります。雑草の生長を妨げたり、グランドカバーの役割も果たします。

感想
 僕たちはSDGs研修で淡路島を通して、特に「タネノチカラ」では、スタップの方々に「自分の手でやると達成感がある」とお話いただき、実際に体験して、誰かと一緒にやることの楽しさや達成感を学びました。自分達だけではなく、未来の人達にも協力する楽しさを知ってほしいと思います。

SDGs 新門

みなさんは虫についてどう思いますか？
 この中には虫が枯れ草の二つを
 が苦手な方も多い使用して土を作る
 がいなくなってしまう虫が
 土がなくなると身の周りの方もいる
 まいります。土が排出
 それは、虫が排出
 した物を微生物が
 分解して土を作
 っているからです。

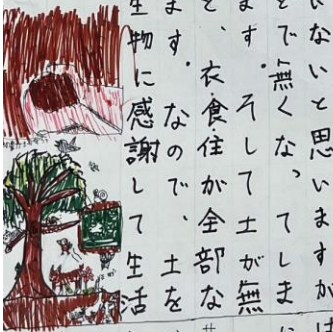


みなさんは、生ゴミからエ
 ンジンを作ることが出来るのを知
 りたいですか？実は生ゴミと
 土を混ぜると、下の写真
 のように、下の写真
 に生ゴミを混ぜると、下の写真
 のように、下の写真
 のように、下の写真



ウッドチップは未 来の土!?

みなさんは、土がどこからくるか知
 りますか？実は土は最初からあ
 りていて、自然から不要
 な部分を細かく砕いたチ
 ップに分解させ
 ています。左の写真のように積
 むておくと、微生物が分解
 して、土になります。



今回の研修で学
 んだことは、無カ
 ンと力は違うとい
 うことです。なぜ
 かというところ、二
 人が体験してさら
 に二人に伝えるのよ
 りに、これを33回
 くり返すと、世界
 人口約80億人全
 員に伝えて全員が
 行動したら、もの
 がすごいことになる
 のです。

淡路島の「タネノチカラ」

SDGs 体験

ウッドチップ

感想

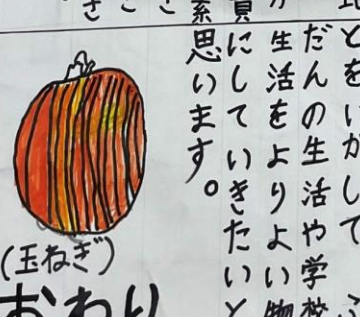
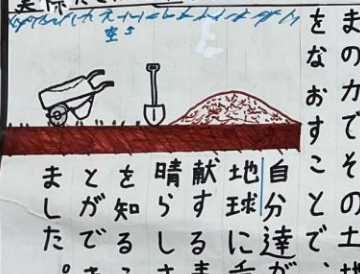
コンポストについて
 コンポストは、土を
 作る道具です。自然に
 出来る土は、100年で1cm
 作られるが、コンポ
 ストで土を作るのを早く
 3ヶ月で1cm土を作れ
 ます。

7月の希望のカケラ

ウッドチップは、木材を細かく砕いたものです。微生物が分解して、土になります。約60℃になると、微生物の活動が活発になり、分解が早くなります。

この実験から、自然の力はすごいと学びました。肥料や農薬を使わずに、自然の力で育てる方法を学びました。

今回の研修で学んだことは、無カンと力は違うということです。なぜかというところ、二人が体験してさらに二人に伝えるのよ



コンポスト
 炭素と窒素が必要で、腐りやすい物や燃えやすい物などを入れ、ミズなどの分解者によつて土に変わります。最も土が出来やすい割合は、炭素1:炭素25です。
 6/14(水)
 おわり
 (玉ねぎ)

土が未来を変える!?

まきかのたまねぎ

身近な土

今日9日、滝川中学校の1年生が、淡路島の家田ファームで農家の大変さなどを学び、最後にもたまねぎつめほう題をした。

このまき行く土は60年以内にはなくなり、ここウットチップは木をこなすにしている。そして山のようにつんどくと中は60度以上になり、土が分解して、土がなくなり、植物が育てない。



淡路島で見えたコンポスター

六月九日に淡路島淡路島市野島常盤タネノチカラでコンポスターのことで学んだ。コンポスターは生ゴミと、かき草を一つに二十五の割合で入れると虫たちが働き、土が食べられたバナナの皮と山にあるかき草をコンポスターに入れたら土ができて、コンポスターで土をつくるのかというところ、世界の土の今は、植物が育つ土は三分の二しかなく、六十年後には植物の育つ土がなくなっている。



ニワトリ

三羽のニワトリ 六月九日に淡路島淡路島市野島常盤タネノチカラで、環境問題について学んだ。特に、鶏のニワトリは、生後二ヶ月で、その大きさは、成鳥の半分程度で、その成長は、早く、卵を産むために、早く、卵を産む。

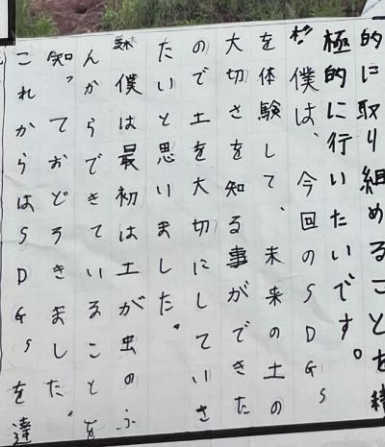
土の大切さ

土は生物の大切な住みかた。土は植物から作られて、植物は土を食べて育ち、動物は植物を食べて育ち、人間は動物を食べて育ち、土はまた植物を育てる。土は生物の命の源である。

土は生物の大切な住みかた。土は植物から作られて、植物は土を食べて育ち、動物は植物を食べて育ち、人間は動物を食べて育ち、土はまた植物を育てる。土は生物の命の源である。

土は生物の大切な住みかた。土は植物から作られて、植物は土を食べて育ち、動物は植物を食べて育ち、人間は動物を食べて育ち、土はまた植物を育てる。土は生物の命の源である。

土は生物の大切な住みかた。土は植物から作られて、植物は土を食べて育ち、動物は植物を食べて育ち、人間は動物を食べて育ち、土はまた植物を育てる。土は生物の命の源である。



6月9日



<教えてくれた金子さん>



<れいごら土が減っているが分る植物を植えている場所の例>

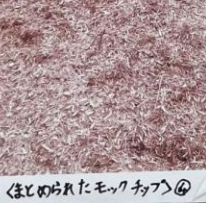
今回教えてくれた人
 今回金子さんでS
 G研修で教えてくれた人
 は金子さんでした。金子
 さんによると、すべての物
 は土からできています。土
 が減ると、私たちの生活に
 支障がでます。しかし、土
 が減ると、私たちの生活に
 支障がでます。しかし、土
 が減ると、私たちの生活に
 支障がでます。しかし、土

世界はCO2を排出している。その結果、地球の気温が上がり、海面上昇、気候変動などが起こっています。これは、私たちの生活に支障を及ぼすだけでなく、生態系にも大きな影響を及ぼしています。そのため、CO2の排出を減らすことが、地球を救うための鍵となります。

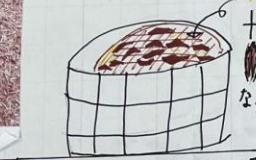
（ウッドチップの場合）
 大量のチップを堆肥にするには、チップを砕き、微生物が分解できるようにする必要があります。



<コンポストの場合>



<コンポスターの場合>



<ほじかれたモックチップ>

<ほじかれたモックチップ>

「土を増やすには？？」
 現在の土質は、コンポストや堆肥の不足により、肥力が低下しています。そのため、土質を改善するために、コンポストや堆肥の活用が不可欠です。また、自然のサイクルを尊重し、土の再生を促すことも重要です。

感想
 この研修を通じて、環境問題の重要性を学びました。特に、土の大切さと、自然のサイクルを尊重する大切さを学びました。また、実践的な研修を通して、環境問題の解決策を学ぶことができました。今後、環境問題の解決に貢献できるよう、引き続き学びたいと思います。

環境を支える土新聞

必見

!?

土は減っている！
 左の写真は雑草を写したものです。雑草の中には、土を保持する能力があるものが多くあります。そのため、雑草を除去すると、土が流失しやすくなります。また、雑草の根が腐ると、土の構造が崩れ、土が硬くなります。これは、植物の成長にとって不利な環境を作り出します。



まかア争なす
まもしがれは
んしまおばそ
れうき戦うま

実は土を作ることができる！?



左の写真は雑草を写したものです。雑草の中には、土を保持する能力があるものが多くあります。そのため、雑草を除去すると、土が流失しやすくなります。また、雑草の根が腐ると、土の構造が崩れ、土が硬くなります。これは、植物の成長にとって不利な環境を作り出します。

左の写真は雑草を写したものです。雑草の中には、土を保持する能力があるものが多くあります。そのため、雑草を除去すると、土が流失しやすくなります。また、雑草の根が腐ると、土の構造が崩れ、土が硬くなります。これは、植物の成長にとって不利な環境を作り出します。



6月9日 場所：飯付川 演習場

私達の生活には、土がなくてはなりません。土は、私たちの生活を支える重要な資源です。そのため、土の保全と再生を促すことが、私たちの生活にとって不可欠です。また、自然のサイクルを尊重し、土の再生を促すことも重要です。

自然界のサイクル

自然界には、植物や虫や土、動物が互いに影響を及ぼし合っています。このサイクルは、自然界のバランスを維持するために不可欠です。そのため、自然界のサイクルを尊重し、土の再生を促すことが、私たちの生活にとって不可欠です。

